

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 有限会社尾崎建築 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			社長が朝礼等で社員に差別の禁止を徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			社長が朝礼等で社員にハラスメントの禁止を徹底している。個別の案件には社長が直接対応している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			過度な長時間労働にならないように気を付けている。休暇はできる限り社員の希望を尊重している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	現在外国人労働者はいないが、将来採用した場合は差別、人権侵害がない体制を構築していく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			危険な場所では安全具を身に付けている。安全教育等のセミナーには積極的に参加している。怪我等発生した場合は原因究明と再発防止を社内で共有している。				3				8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			社内の風通しを良くし、相談できる雰囲気づくりを心掛けている。個別の案件には社長が直接対応する。				3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			女性、高齢者(70歳以上)の活躍の場を提供している。従業員の仕事と子育ての両立支援の為、県の「社員の子育て応援宣言」登録証を取得。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			費用は会社負担で、一級大工技能士、二級建築士等の資格取得を推奨している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			労働契約法等を厳守し、公正な待遇になるよう気を付けている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			年1回建設労働組合の健康診断を受けている。社員の個別事情には社長が相談を受け配慮している。				3				8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物処理法を厳守し、分別やマニフェスト管理を適切に行っている。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			自社の電気、ガス、水道、燃料費を月次で把握している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			節電、節水、エコ運転を心掛けている。事務所等の照明をLEDに順次、切り替えている。						7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			法令で規制されている有害化学物質を把握し、適正に使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			地域の清掃活動に参加している。コピー用紙、トイレットペーパーは再生紙を活用している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			古民家再生に取り組み、廃棄物の削減や新しい資源の使用抑制に繋げている。古民家から取り出した古材の状態に応じて補修・加工し、新たな用途へ再利用している。											13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			水道使用量を把握し、節水に心掛けている。現場には簡易トイレを設置し、事務所にはウォーターサーバーを設置して活用している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	現在ISO14001、エコアクションの認証取得はしていないが、将来会社の発展状況により取得を検討していく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、取り組んでいる。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			事務所等の照明をLEDに順次、切り替えている。							7.2						13				
21	公正な事業 慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			コピー用紙の再生紙や、裏紙利用、トイレットペーパーの再生紙の活用に取り組んでいる。県産材の活用に心掛けている。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			社長が汚職、贈収賄をしないよう社員に周知している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			社長が汚職、不正競争行為をしないよう社員に周知している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			商標登録は適正に管理している。業務の中で知的財産保護の大切さを社員に周知している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			顧客情報はファイル等で適切に管理している。社員のマイナンバーは、法令に基づいて適切に管理している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			現在、取り扱っていない。今後も取り扱わない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			元請会社、下請会社、施主と情報共有し環境への悪影響、ハラスメント等の防止に取り組んでいる。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	現在、「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表はしていないが、サプライチェーン全体での信頼関係を大切に、公正・公平な取引を推進し、地域事業者との連携を深めた持続可能な関係構築を目指し、今後検討していく。			3				8	9	10								17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			危険な場所では、安全具を付けている。安全教育等のセミナーには積極的に参加し、現場監督人は事故防止を心掛けている。			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			保険を活用している。引き渡し後、定期点検を実施し必要なサービスを提供している。								9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			古民家再生により環境保護に取り組んでいる。高気密、高断熱、省エネ等の環境に配慮した設計を心掛けている。						6						12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			古民家再生により環境保護に取り組んでいる。長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、SDGsに取り組んでいく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			地域の独居老人宅の修理には積極的に関わっている。廃材は廃棄物として適正に処分している。				4				9		11	12		14	15		17		
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			地域の清掃活動に積極的に参加している。				4						11			14	15		17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			県産材の活用を心掛けている。地域の人材を雇用している。								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			社長が理念、目標を社員に説明し共有している。								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			社長が法令遵守、コンプライアンス厳守の大切さを社員に周知している。																16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			少数精鋭の為、社長が管理している。																16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			施主様、元請、下請と情報交換を心掛けて満足のいく家づくり、適正な管理を心掛けている。現場周辺の住民の方々には工事前の挨拶、騒音、防振に気を配っている。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			毎朝、危険予知活動を行っている。新規工事、着工前には危険箇所等の周知を図っている。重機等の法定点検は厳守している。																16		
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、SDGs達成に取り組んでいく。																16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			BCPの策定は無いが、社員の緊急連絡網の整備、緊急避難場所の周知をしている。									9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			社長がまだ若く(40代)、必要に応じて今後検討していく。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定